

〈広報〉  
第40号  
令和5年  
11月10日

# 青山小学校区 コミ協だより

Comi-Kyo-DAYORI in Aoyama elementary school district

青山小学校区  
コミュニティ  
協議会  
新潟市西区青山6-16-20  
☎025 (233) 2990

## 有明地区 ふれあいの集い 浦山地区

### 有明地区

九月二十五日、有明地区のふれあいの集いが西区木場の「勇吉」で八十歳以上の方を対象に約五十人が集まりにぎやかに開かれました。コロナ禍で四年ぶりの開催となり、それまで長く近い有明園開催時と違いバスでの会場から前回百二十人規模からすると少しさみしい感じでしたが、打越会長による楽しみ体操や宝くじ・運試し大会と会が進むにつれ人数以上の盛り上がりとなりました。

### 人数以上の盛り上がり

久しぶりの開催から、参加メンバーも変わり、今回開催に協力参加の民生児童委員の紹介などをお交え二時間余りの宴もあつという間の楽しい敬老会風景でした。



### 浦山地区

三年ぶり開催を目前に中止を余儀なくされた昨年と違い、猛暑の余韻が残る九月十二日、中央区上所のハミングプラザ新潟で約百人の参加者が集まりました。実質四年ぶりの敬老のお祝い会で水野西区長、包括支援センター小新・小針矢野所長など

### 久しぶりの交流、満喫

来賓を招き盛大に開かれました。四月の総会で行事計画が決定後、浦山自治協及び地区内の民生児童委員を中心に準備が進み、会場や参加者のとりまじめを経て開催まで至りました。結婚式会場に不似合いな年代層かもしれないが、カラオケ大会やじゃんけんゲームで華やかな会場雰囲気となり、次々と出される料理に腹も満足度いっぱい。あつという間の二時間、広い豪華な会場と久しぶりの交流を堪能した敬老会でした。欠席者への恒例の「赤飯」希望配布は、五百食に近い配布実績でした。

## 令和五年度 青山小学校防災訓練を振り返って

令和五年九月二日青山小学校で地区の災害体験者として、一九六四年六月十六日発生した新潟地震の話を通して、児童にリモートで実施しました。家族と災害時の連絡の手



段・食料の備蓄の習慣等が必要であることを伝えました。その後四年生と体育館で災害時の備品である「段ボールベッド」の組み立てについて、自治会長と一緒に挑戦しました。児童たちは組立方を図で理解し、ほんの数分で完成、ベッドに横たわり、「思ったより簡単に出来て数人が乗っても大丈夫だ」と感想を話し合い、自分たちが災害時の時に出来る事を考え体験しました。その後、各地域の子ども会に会長たちも参加して、児童一人一人が提案した通学路の危険個所の対策案も含めて協議しました。児童・保護者・会長と危険箇所を確認し合いながら一緒に下校し訓練を終了しました。  
(田村政敏・自主防災会実行委員長)







カ・フラ・オ・ナー・ブアケア



親和会

2023  
青山コミュニティハウス  
**文化祭**  
10月21日(土)9:00~17:00  
10月22日(日)9:00~15:00

★作品展(9:00~)  
・編物・生花・ペン習字  
・書道・絵手紙・着物展示

★芸能発表会(10:00~)  
・華演奏・フラダンス  
・詩吟・ヒップホップダンス  
・民謡・太極拳  
・新舞踊・着物着付け  
・カラオケ・うた声広場



有明フラダンス



山沢詩吟教室



ダンス高田



民謡きすな会

芸能発表会・作品展



glamorous&charm



民謡ひまわり会



親和カラオケ



はせがわ着物教室・ちくちく倶楽部



太極拳青山会

参加グループの「水曜編物」が  
取り組んでいるトキ保護募金に  
12,041円が寄せられました。  
ご協力ありがとうございました。



箏の会



永田宏行と歌おう「うた声広場」



幸風会ペン習字教室



はせがわ着物教室・ちくちく倶楽部



生花草月流



水曜編物



絵手紙「かきたいな」



アトリエHANA

健康茶の間

坂井輪診療所健康友の会

秋命

坂井輪健康友の会 青山支部





## 有明ふれあい祭り 4年ぶりに開催

令和5年度の『有明ふれあい祭り』が4年ぶりに開催されました。如月会による神輿披露を幕開けにステージでは小針中学校吹奏楽部演奏・トランペッターNobyさんによる「トランペットのタベ」と続く中、バナナのたたき売りやアイスキャンディー・ポップコーン・たこ焼きなどの飲食コーナー・水玉ヨーヨー釣りなどの色んなゲームコーナーに沢山の人が列を作って楽しんだり、フリーマーケットで掘り出し物を探したりと今までに無い盛り上がりがありました。約1,000人の方が来場され楽しい時間を過ごしていました。

## 第39回 新潟シティマラソン

### 秋空の下、1万人が快走。



暖かな秋の陽射しの下、10月8日(日)

「第39回 新潟シティマラソン」が開催されました。

ゲストランナーにシドニー五輪出場、世界選手権・銀メダリストの市橋有里さんを迎え、中学校・高校の吹奏楽部など多数の応援の中、県内外から約1万人のランナーが参加しました。

「フルマラソン」は、デンカビッグスワンスタジアムから午前8時半にスタートして、ゴールの新潟市陸上競技場をめざします。

恒例となっていますが、茶目っ気のある奇抜なコスチュームを着用したランナーは、本人だけでなく、沿道の人々の目を楽しませてくれます。

当地区の担当区域は、新潟大堰橋の河川事務所前から、折り返し地点の国道402号線・青山海岸海水浴場の付近まで、そして関屋分水左岸沿いに有明大橋先のJR越後線を越えたところまでとなります。

地元からは、浦山自治協、有明自治協、青山小PTA、青山学校開放、青山地区民生委員、青山小学校区スポーツ振興会などの団体から、約100人の走路員が、案内、給水のボランティアとして大会を支援しました。



※この広報誌は新潟市の助成金を受けて発行しています。



## はいかい模擬訓練

### 有明福祉タウン

今回、地域包括支援センター小針・小針の企画提案で、「認知症サポーター養成講座」と「はいかい模擬訓練」が有明福祉タウン内と地区内の関係機関の共催のもと実施されました。十月二十四日「模擬訓練」は、関係者ごとに当日の流れ・役割の説明を受け、六グループに

分かれた参加者は声掛けレクチャーや基本対応を学んだあと、はいかい者四人の捜索へグループごとに出発しました。それぞれのグループが「はいかい者役」を次々と声掛け開始、学んだ①驚かせない②急がせない③自尊心を傷つけない④否定しない、の基本対応に注意し臨みました。活動終了後、振り返り会を行いました。グループワークで感じたこと、難しかったことを共有し、はいかい者役の感想発表も聞き、晴天の午前中を有意義な体験で過ごしました。